ELECOM

USB パソコン切替器 *KVM-NVU2 / KVM-NVU4* ユーザーズマニュアル

この度は、エレコムの USB パソコン切替器 "KVM-NVU シリーズ"をお買い上げ いただき誠にありがとうございます。"KVM-NVU2"は 2 台まで、"KVM-NVU4"は 4 台までのパソコンを 1 台のディスプレイ / キーボード / マウスで操作できるパソ コン切替器です。

このマニュアルでは"KVM-NVUシリーズ"の使用方法および安全にお取り扱いいた だくための注意事項を記載しています。ご使用前に、必ずこのマニュアルをお読みく ださい。なお、このマニュアルでは一部の表記を除いて"KVM-NVUシリーズ"を「本 製品」と表記しています。また、このマニュアルはお読みになったあとも大切に保管 しておいてください。

本製品には以下のような特長があります。

- ●複数のパソコンを1台のディスプレイ/キーボード/マウスを使って操作できます。
- ●ドライバ不要の簡単接続。切り替えは本体上のボタンおよびホットキーに対応しています。
- ●マウス、キーボードは USB インターフェイスに対応しています。
- Windows マシンと Macintosh を混在させることができます。
- ●ビデオカードはQXGA 2048 × 1536ドットの解像度まで対応しています。
- Microsoft IntelliMouse 互換マウスに対応しホイール機能が使用できます。
- Caps Lock)、(Num Lock)、(Scroll Lock) キーはパソコンを切り替えても、
- <u>Cabs Lock</u>)、(<u>Num Lock</u>)、(<u>Scion Lock</u>) キーはパリコンを助り自えても 各キーの ON/OFF は保持されます。

Tips ホットキーとは

特定の組み合わせのキーを押すことで、決まった処理を実行することができる便利な 機能です。プログラムをメニューから実行したり、機器のボタンを押す必要かなく、キー ボードから直接操作ができます。例えば、本製品では〔Shift〕キーを押しながら〔Ctrl キーを2回押すことで次のパソコンに切り替えることができます。

1 パッケージの内容を確認しましょう

本製品のパッケージには次のものが入っています。作業を始める前に、すべてが 揃っているかを確かめてください。なお、梱包には万全を期しておりますが、万一 不足品、破損品などがありましたら、すぐにお買い上げの販売店へご連絡ください。

□ USBパソコン切替器"KVM-NVU2"または"KVM-NVU4"	1台
□ KVM ケーブル KVM-NVU2 の場合	2本
KVM-NVU4の場合	4本
□ AC アダプタ	1 個
🗌 ユーザーズマニュアル(このマニュアルです)	1枚

● 本製品について

■こんなことができます

本製品は1組のコンソール(ディスプレイ、キーボード、マウス)で複数のパソコンを切り 替えて使用するための機器です。パソコンが複数あってもディスプレイやキーボードが 1組しかいらないので省スペース、ローコストを実現できます。本体前面のボタンまたは ホットキーを押すことで、コンソールが使用するパソコンを切り替えることができます。 また、Windowsマシンと Macintosh を混在して使用することもできます。



本製品を使用するために必要なシステム構成

本製品を使用するためのシステム条件は以下のとおりです。

●コンソール(ディスプレイ、キーボード、マウス)

·ディスプレイ×1台(VGA以上の解像度に対応するマルチシンクタイプのアナログディ スプレイ)

- ・USBキーボード×1台
- ・USB マウス×1台(Microsoft IntelliMouse 互換のホイール付きマウスも使用可能) ・パソコンが USB マウスおよび USB キーボードを PS/2 デバイスとして認識できない 環境では、OS 上で USB ドライバが有効になるまでマウスとキーボードを利用できま せん。
- ・USBハブ経由でのマウスおよびキーボード認識に対応しないパソコンでは、OSが起動するまでマウスおよびキーボードが使用できないことがあります。

注意 Windows マシンと Macintosh を混在させる場合

Macintosh にしかないキーを代用するためには、Windows キーなどを装備した Windows 用フルキーボードが必要です。詳しくは、裏面「Windows マシンと Macintosh の混在環境で使用する場合」を参照してください。なお、Macintosh 用 のキーボードは使用できません。

●パソコン

■絵表示の意味

◎記号は「してはいけない」

ことを示します。

Windows XP/Me/2000/98SEを使用するIBM PC/AT互換機、またはMac OS X (10.3 以降)を使用する Macintosh シリーズで以下の条件に適合するマシン ・VGA 以上の解像度に対応するビデオ(アナログ出力)機能(WVGA モード表示には非対応) ・USB キーボード、USB マウスなど USB 機器が接続できる USB ポートを装備

けがや故障、火災などを防ぐために、ここで説明している注意事項を必ずお読みください。

○ 安全にお使いただくために

	告	この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などによる死亡や 大けがなど人身事故の原因になります。
▲ 注	意	この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故により けがをしたり、他の機器に損害を与えたりすることがあります。

- ・ 本製品が発熱している、煙がでている、へんな臭いが しているなどの異常があるときは、直ちに使用を中 止したうえで、AC アダブタをAC コンセントから 抜き、すべてのケーブルを取り外してください。その あと、ご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- KVMケーブルは本製品に付属のものを使用してください。また、他の製品には絶対に使用しないでください。 間違って使用すると、機器の故障、火災や感電の原 因になります。
- 本製品を落としたり、ぶつけたりしないでください。 万一、本製品が破損した場合は、直ちに使用を中止したうえで、ACアダプタをACコンセントから抜き、 すべてのケーブルを取り外してください。そのあと、 ご購入店などにご連絡ください。 破損したまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 本製品および付属品の分解、改造、修理をご自分でし ないでください。 火災や感電、故障の原因になります。また、故障時の 保証の対象外となります。
- 本製品に水や金属片などの異物が入った場合は、直 ちに使用を中止したうえで、ACアダブタをACコ ンセントから抜き、すべてのケーブルを取りはずして ください。そのあと、ご購入店などにご連絡ください。 そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因にな ります。
- 本製品を火中に投入しないでください。 破裂により火災やけがの原因になります。
- 本製品に接続したケーブルをぬれた手で抜き差ししないでください。また、加工したり、無理に曲げたりしないでください。 、火災や感電の原因になります。

•

ことを示します。

●記号は「しなければならない」



- 中製品にパソコンおよび周辺機器を接続するときは、必ずパソコン本体および周辺機器メーカーの注意事項に従ってください。
- 本製品は次のようなところには置かないでください。 ・日のあたる自動車内、直射日光のあたるところ、暖房器具の周辺など高温になるところ、 ・多湿なところ、結露をおこすところ・・平坦でないところ、振動が発生するところ
- マグネットの近くなどの磁場が発生するところ
 ・ほこりの多いところ
 本製品にケーブルを接続するときは、コネクタの向きを間違えないように接続してく
- ださい。 無理に押し込むと、本製品が故障したり、けがをする恐れがあります。
- 本製品は防水構造ではありませんので、水などの液体がかからないところで使用また は保存してください。雨、水しぶき、ジュース、コーヒー、蒸気、汗なども故障の原因となります。
- 長期間、本製品を使用しないときは、ACアダプタをACコンセントから抜いておいてくたさい。 故障の原因になります。

4 各部の名称とはたらき



1	CPU セレクトボタン	このボタンを押すことでコンソールが使用する CPU (パソコン)を 切り替えることができます。ボタンは左から CPU1、CPU2…の順番 で対応しています。操作方法については裏面の「CPU セレクトボタンを 使う」をお読みください。
2	[ON LINE/ SELECTED] ランプ	本製品とパソコンの現在の接続状態を示します。詳しくは下記の 「SELECT ランプの表示状態」をお読みください。
3	USB キーボードポート	コンソール側のUSB キーボードを接続します。
4	USB マウスボート	コンソール側のUSBマウスを接続します。

■背面





1	電源ジャック	本製品に電源を供給するために付属のACアダプタのプラグを差し込みます。本製品に付属以外のACアダプタは使用しないでください。
2	ディスプレイボート (コンソール)	コンソール側のアナログ対応ディスプレイ(モニタ)のディスプレイ端子 (D-Sub ミニ 15 ピン:オス)を接続します。
3	USBボート	付属の KVM ケーブルの USB B コネクタを接続します。
4	ディスプレイボート (CPU)	付属の KVM ケーブルのディスプレイコネクタ(D-Sub ミニ 15 ピン) を接続します。

● SELECT ランプの表示状態

表示状態	内容
消灯	パソコンの電源が切れているか、パソコン自体が本製品に接続されていません。
暗く点灯	パソコンの電源が入っていますが選択中ではありません。
明るく点灯	その CPU ポートに接続されたパソコンを選択中で、コンソールが使用できます。
各ランプが順番 に明るく点灯	オートスキャン・モードを実行中です。点灯したボートのパソコンが選択されて います。

5 基本仕様						
\sim						
製	8	型	番	KVM-NVU2 KVM-NVU4		
対	心	機	種	USB ボートを標準で装備する IBM PC/AT 互換機および Macintosh シリーズ		
対	応	0	S	Windows XP / Me / 2000 / 98SE		
				Mac OS X (10.3 以降)		
選	択	方	式	本体前面の CPU セレクトボタンおよび	びキーボードのホットキー	
	ンソ	- J	,側	アナログディスプレイ出力ボート、USE	3キーボードボート、USB マウスボート	
CPU(パソコン)側		/)側	アナログディスプレイ入力ボート、	アナログディスプレイ入力ポート、		
			USB ボート×パソコン 2 台分	USB ポート×パソコン 4 台分		
ディ	スプレ	/イ解(象度	最大 2048 × 1536 ドット(DCC2B)		
オ -	-トラ	2+1	ッン	5 秒間隔(初期値) 変更可能		
動作	動作時環境条件 温度:0~50℃ 湿度:0~80%RH(結露なきこと)			(結露なきこと)		
保管時環境条件			≷件	温度:-20~60℃ 湿度:0~80%RH(結露なきこと)		
形	状	寸	法	幅 130 ×奥行 74.5 ×高さ 42mm	幅 200 ×奥行 74.5 ×高さ 42mm	
質			量	約 484g	約 692g	
梱	E]	8	製品本体、KVM ケーブル×2本、	製品本体、KVM ケーブル×4本、	
				AC アダプタ、マニュアル	AC アダプタ、マニュアル	

6 トラブルシューティング

■キーボードまたはマウスが反応しない

- ●キーボードまたはマウスのケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- オートスキャン・モードになっているときは、(Esc)または(スペース)キーを押して、オートスキャン・モードを解除してください。
- ●キーボードまたはマウスのケーブルをいったん抜いて、再度接続しなおしてください。
- ●特殊マウスをご使用の場合は、Microsoft IntelliMouse 互換のマウスに交換してみてください。
 ●パソコンの電源をいったん切り、約5秒後に再度パソコンの電源を入れてキーボードまたはマウスの反応を確認してください。

■ディスプレイに何も表示されない

- ●ディスプレイケーブルが正しく接続されているかを確認してください。
- CPU セレクトボタンを押して、他のパソコンに切り替えてみてください
- ●解象度/帯域幅の設定を変更してください。本製品は、解像度が2048×1536ドットまでのVGA、 SVGAマルチシンクとXGA(組み合わせ)のみに対応しています。
- ●本製品とディスプレイを接続するケーブルを交換してください。高品質のケーブルを使用する ことで、画像の問題が軽減される場合があります。

■ホットキーが有効にならない

●キーをゆっくりと押した場合、ホットキーとして認識されない場合があります。今よりも早いタ イミングで押してみてください。

7) ユーザーサポートについて

本製品のマニュアルは保証書を兼用しています。保証内容をお確かめのうえ大切に保管し てください。本製品のご使用中に何らかのトラブルが起きたとき、または操作方法や使い かたがわからないときは、お問い合わせいただく前に、いま一度「マニュアル」「ELECOM Web Site 内にあるサポートFAQ」をご確認ください。FAQにはお客様からいただくご 質問のうち、特に質問数が多いものをまとめてあります。

それでも解決しない場合は、エレコム総合インフォメーションセンターにご連絡ください。

●エレコムホームページ http://www.elecom.co.jp/

●エレコム総合インフォメーションセンター

商品に関する **TEL. 0570-084-465** が問い合わせは **FAX. 0570-050-012** (510%) (13:00~12:00) (年中無休) 13:00~18:00

(二) 保証規定

■保証内容

取扱説明書・本体添付ラベルなどの注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容に 基づき無償修理いたします。

■無償保証範囲

製品が故障した場合、お客様は保証書に記載された保証期間内において、弊社に対し無償修理を依頼することができます。 たたし、下記の場合、弊社は無償修理を承れません。

- ににし下記の場合、弊社は無償修理を承れる (1)保証書をご提示いただけない場合。
- (2)保証書に販売店印ならびに購入年月日の記載がない場合。
- (3) 保証書が弊社から発行した保証書でない場合、または偽造・改変などが認められた場合。
- (4)弊社より発行した保証書と認められない程に破損・汚れが付着している場合。
- (5) 故障した製品をお送り頂けない場合。
- (6)弊社が動作を保証するとして指定した機器以外でご使用したために故障または破損した場合。
- (7) お客様の過失により本製品が故障または破損した場合。
- (8) 火災・水害など天変地変および静電気などの異常な電圧などの外的要因により故障または破損した場合。
- (9) 消耗部品の自然な消耗・劣化により故障した場合。
- (10) 輸送中の振動・落下により故障した場合。
- (11) 一般家庭用以外(例えば業務用)での使用による故障または破損した場合。
- (12) その他、弊社の判断に基づき、無償保証が認められない場合。

■修理

修理のご依頼時には製品をお買い上げの販売店にお持ちいただくか、弊社修理センターにご送付ください。

■免責事項

お客様がご購入された製品について、弊社に故意または重大な過失がある場合を除き、損害賠償責任は購入金額を 限度といたします。

弊社における保証は本製品の機能に関する保証のみに限ります。弊社瑕疵にもとづく本製品以外の責には応じません。 また記憶されたデータの消失または破損について保証するものではありません。

■有効範囲

本保証規定は、日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

この保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

i i i i i i i i i i i i i i i i i i i		休証者		
型 番	KVM-NVU2	KVM-NVU4	該当する型	番をチェック 🖌 します。
		販売店		
店名 住所	TEL			
			保証期間	お買い上げ年月日
担当者名			1年	年月日

接続しましょう

Tips Windows 98SE で使用するパソコンを接続する場合

Windows 98SE では本製品を USB 機器として認識させた状態で使用しないとキーボードとマウスが正常に動作しないことがあります。全体 の接続を始める前にあらかじめ以下の作業をおこなってください。

① Windows 98SE が動作するパソコンを単独で操作できるようにディスプレイ、USB キーボード、USB マウスを接続した状態で起動します。 ② 本製品の背面にある CPU1 と刻印された USB ボートに、付属の KVM ケーブルの USB B コネクタ側を接続します。ディスプレイコネクタ は接続不要です。

- ③ KVM ケーブルのもう一方にある USB A コネクタを、パソコンの USB ポートに接続します。ディスプレイコネクタは接続不要です。
- ④ Windows 98SEのパソコンで本製品が USB 機器として認識されれば準備作業は完了です。
- KVM ケーブルはいったん外してください。

接続図を参考にして以下の手順で各機器を接続してください。

1. 以下のことを確認します。

①すべての機器の電源が切れていること ②本製品に接続する CPU (パソコン)からディスプレイ、キーボード、マウスなど共有する機器が外されていること

- 2. ディスプレイ、USBキーボード、USBマウスを本製品の各ポートに接続します。 USB キーボードと USB マウスは前面の [CONSOLE] に、ディスプレイは背面にある | 青色| のコンソール用ディスプレイポート [CONSOLE]に接続します。
- 3. 付属の KVM ケーブルを接続します。ディスプレイコネクタと USB B コネクタがペアになった側を本製品の背面にある各ポートに 接続します。
- 4. ディスプレイコネクタと USB A コネクタがペアになった側をパソコンの各ポートに接続します。

5. 本製品に付属のACアダプタを背面にある電源ジャックに接続し、ACアダプタ本体をACコンセントに差し込みます。

6. コンソール側のディスプレイおよび各パソコンの電源を入れると本製品を使用できるようになります。



本書の著作権は、エレコム株式会社が所有しています。本書の内容の一部または全部を無断で複製/転載することを禁止させていただきます。本書の内容に関しては、万全を照しておりますが、万一ご不審な点かございました。販売市までご連絡額います。本書の内容に関しては、万全を照しておりますが、万一ご不審な点かございました。販売市までご連絡額います。本書品の内容に関しては、万全を照しておりますが、万一ご不審な点かございます。 きい、本製品のうち、戦略物資または役務に該当するものの輸出にあたつては、外海法に基づく輸出または役務取引許可が必要です。・Microsoft®、Windows®は、米国Microsoft社の登録商標です、Macintosh、Mac OSはアップルコンビュータ社の商業です。その他本書に撮載されている品名と社名なくは、一般に商標ならびに登録商様です。

USBパソコン切替器 KVM-NVU2 KVM-NVU4 ユーザーズマニュアル 2006年2月1日 エレコム株式会社 ©2006 ELECOM Co.,LTD. All rights reserved.

使ってみましょう

コンソール(ディスプレイ / キーボード / マウス)を切り替えるには、本製品の前面にある「CPU セレクトボタン」 を使う方法と、キーボードに割り当てられた「ホットキー」を使う方法があります。また、一定間隔でスキャンしな がらパソコンを切り替える「オートスキャン・モード」を使用することもできます。

CPU セレクトボタンを使う

任意のパソコンに切り替える

使用したいポート番号に対応した CPU セレクトボタンを押してすぐに離します。選択したポート番号の [ON LINE/SELECT] ランプだけが明るく点灯します。

オートスキャン・モードを使用する

コンソール(ディスプレイ/キーボード/マウス)から操作する CPU (パソコン)を5秒間隔で自動的に切り替 えます。

●オートスキャン・モードの設定方法

CPU セレクトボタンの1と2を同時に2秒以上押します。ピッと音が鳴り、オートスキャン・モードに切り替わ ります。選択中の CPU の [ON LINE/SELECT] ランプが明るく点滅します。5 秒間隔で次の CPU に切り替わ ります。

●オートスキャン·モードを中止するには

中止後に選択したい CPU の CPU セレクトボタンを押すと、オートスキャン・モードが終了します。

ホットキーを使う

キーボードのホットキーを押すことで、コンソール(ディスプ レイ / キーボード / マウス) で使用する CPU (パソコン)を 切り替えることができます。

Tips キーの割り当てを変更する場合

初期値のキーでは別のアプリケーションなどとキー割り当てが重複する場合は、別のキー割り当てに変更することができます。このあとの「ホットキーの設定を変更する」をお読みください。

パソコンを切り替える

●次のポート番号のパソコンに切り替える

KVM-NVU2/KVM-NVU4 共通

- Shift キーを押しながら Ctrl キーを2回押します。
- ② Shift)キーを離すと、「Caps Lock ランプ」と「Num Lock ランプ」が交互に点灯します。
- ③ [Enter] キーを押すと、次のポートのパソコンに切り替わります。 KVM-NVU2の場合、 CPU1 と CPU2 が 交互に切り替わります。

●任意のパソコンに切り替える

KVM-NVU2/KVM-NVU4 共通

- Shift キーを押しながら Ctrl キーを2回押します。
- ❷ Shift キーを離すと、「Caps Lock ランプ」と「Num Lock ランプ」が交互に点灯します。
- ❸ 切り替えたいパソコンが接続されたポート番号に対応した数字(1)~④)キーを押します。※
- ④ [Enter] キーを押すと、そのポートのパソコンに切り替わります。
- ※テンキーは使用できません。KVM-NVU2は1または2キーのみ有効です。

オートスキャン・モードを使用する

コンソール(ディスプレイ/キーボード/マウス)から操作する CPU (パソコン)を一定問隔で自動的に切り替え ます。オートスキャンの間隔は1秒単位で最大99秒間隔まで指定することができます(初期値:5秒)。

●オートスキャン・モードを開始する

- 前回設定した間隔(初期値=5秒)でオートスキャンを開始します。
- Shift キーを押しながら Ctrl キーを2回押します。
- ② Shift キーを離します。③ A キーを押します。
- ④ Enter キーを押すと、オートスキャン・モードが開始します。

●オートスキャン・モードを指定した間隔で開始する

- オートスキャンの間隔を指定します。
- Shift キーを押しながら Ctrl キーを2回押します。
- ❷ Shift キーを離します。❸ ▲キーを押します。
- ④ 数字キーを使って、間隔を秒単位(最大 99 秒)で指定します。(例: 15 秒のとき→ 1)・5 キーを押す)
- Enter キーを押すと、指定した間隔でオートスキャン・モードが開始します。
- ※テンキーは使用できません。

●オートスキャン・モードを終了する

(Esc) または (スペース) キーを押します。キーを押した時点の CPU が選択されます。

注意オートスキャン中の操作について

オートスキャン中は[Esc]および (スペース) キー以外のキー入力およびマウス操作は受け付けません。

●設定モードに入る

- 2 Num Lock キーを離します。

●設定コマンド

H	設定モード がら (F12
T	ホットキーの
R . Enter	★ホットキ・
B	操作時のビ
F1	キーボード
F2	キーボード
F4	現在のホッ てください
F5	USB ボート
X . Enter	★ホットキ ます。 🗙
[Esc] (スペース)]	設定モード

●現在のホットキー設定を見る

ホットキー設定の見方

@num lock[+@-[and shift,@ctrl[+@ctrl[

①の部分について

②の部分について shift,@ctrl[+@ctrl[

Tips Windows マシンと Macintosh の混在環境で使用する場合

Windows マシンと Macintosh を混在して使用する場合、キーボードには、Windows 用キーボードを使用してください。ま た、マウスは Macintosh にも対応したものをお使いください。ご使用になるときは、以下の説明をお読みください。

●キーボードのエミュレート機能の切り替え

Windows 用キーボードを、Windows マシンと Macintosh で兼用します。そのため、接続したパソコンに、キーボードのキー 割り当てが対応するように切り替える必要があります。

·Windows マシンで使用するときは、ホットキー設定モードに入った後、 F1 キーを押してから使用を開始します。 · Macintosh で使用するときは、ホットキー設定モードに入った後、 [F2] キーを押してから使用を開始します。

● Macintosh で使用する場合のキー割り当て

Macintosh には、Windows 用キーボードにはないキーがあります。表を参考に操作してください。本製品で Macintosh を 使用する場合は、切り替え後、ホットキー設定モードに入り、 F2 キーを押してから操作してください。

Macintosh のキー	Windows キーボードでの割り当て	Macintoshのキー	Windows キーボードでの割り当て	
æ		=	Desktop Menu	
(Alt/Option)	Alt	(F13)	Print Screen	
Shift	Shift	(F14)	(Scroll Lock)	
Control	Ctrl	(F15)	Ctrl +	
Caps Lock	Caps Lock		$\boxed{\text{Ctrl}} \rightarrow \boxed{1}$	
Return	Enter		$Ctrl \rightarrow 2$	
Delete	Back Space		Ctrl → 3	
Help	Ins		$\boxed{\text{Ctrl}} \rightarrow \boxed{4}$	
※ 〔Ctrl → ①: 〔Ctrl キーを離してから、 ① キーを押します。 (Ctrl + 〔30]: 〔Ctrl キーを押しながら、 [30] キーを押します。 ※表記のキー名称は、ご使用のキーボートのキーの刻印名称と多少異なることがあります。				

ホットキーの設定を変更する

ご使用の環境によっては初期値のホットキーでは別のアプリケーションなどとキー割り当てが重複することがあります。 設定モードを使用するとキー割り当てを変更したり、その他のオプション設定ができます。

● Num Lock キーを押しながら = キーを押します。 = キーは押してすぐに離してください。

❸ Caps Lock と Scroll Lock ランプが交互に点滅します。設定を終了すると消灯します。

·設定モードを終了するには、(Esc) または (スペース) キーを押します。

·設定モード状態のときは、通常のキーボード入力やマウス操作はできません。

設定モード中に以下のコマンド操作をすることで設定できます。 (日) ① などのアルファベットキーの大文字 / 小文字は区 別されません。また、★印の設定以外は操作後に自動的に設定モードを終了します。

> に入るための操作キーを「Num Lock)キーを押しながら — キーを押す」から「Ctrl)キーを押しな を押す」またはその逆に変更します。

の操作キーを「Ctrl)キーを2回押す」から「Scroll Lock)キーを2回押す」またはその逆に変更します。 -機能の各種設定を初期値に戻します。 R キーを押したあとに Enter キーを押す必要があります。

ープ音(ピッという音)のオン/オフを切り替えます。

の割り当てを Windows に合わせる場合に押します(Windows で使用する場合)

の割り当てを Mac OS に合わせる場合に押します(Macintosh で使用する場合)

・トキー設定を確認することができます。詳しい操作方法は下記の「現在のホットキー設定を見る」を参照し

が正常に認識されなくなったときなどに USB ボートの接続をリセットします。

-の無効/有効を切り替えます。無効にすると設定モードに入る場合を除いてホットキーは使えなくなり キーを押したあとに Enter キーを押す必要があります。

を終了します。

設定モードで(F4)キーを押すと現在のホットキー設定を知ることができます。以下の手順で操作してください。

● ワープロまたはエディタソフトを起動し、新規文書を開いておきます。

❷ 設定モードに入り、F4 キーを押します。自動的に現在のキー設定と各ポートの設定が書き込まれます。

@num lock[+@-[→設定モードに入る操作に Num Lock] + □ キーを使用しています。 @ctrl[+@f12[→設定モードに入る操作に Ctrl + F12 キーを使用しています。

→ホットキーの操作に(Shift)キーを押しながら(Ctrl)キーを2回押す方法になっています。 shift,@scroll lock[+@scroll lock[→ホットキーの操作に(Shift)キーを押しながら(Scroll Lock)キーを2回押す方法になっています。